

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和 7年12月 9日(火) 10:00~12:20
開催場所	板東の丘 2F 雲のひろば
参 加 者	・板東の丘 保護者・・・1名 ・板東の丘 利用者・・・2名 ・地域の関係者・・・・・・2名 ・鳴門市社協・・・・・・・1名 ・板東の丘 職員・・・・・・7名 ・同一法人内施設より見学・・・4名

1. 板東の丘園長、参加者あいさつ

○地域連携推進会議今年度より障害分野での開催義務化を説明。

○参加者自己紹介

1. 板東の丘運営、活動内容紹介

① 板東の丘の紹介

- ・サービス、事業等について
- ・作業、農園実習等について
- ・主な活動について

② 活動内容紹介

- ・自治会について
- ・食事会、地域交流会等
(自治会長、副会長より説明)

2. 絵画展アート活動紹介

① 今年度出展、または出展予定の絵画展について説明。

② 利用者作品紹介。Kさん、Tさん、Mさん、Fさん、Sさん 5名分

3. 経営状況報告

① 令和6年度決算報告

- ・収支、積立金について説明。

4. 防災関係

- ① 土砂災害特別警戒区域に指定されている。過去の被災状況紹介。
- ② 避難訓練について。草の実学園との合同避難訓練を行った。
- ③ BCP について

5. 地域との連携

- ① 地域清掃について
 - ・同一法人内施設による合同清掃、草刈り、縁どろの買い物支援等行っている。
 - ・地域の方の移動支援も始まる。

6. 利用者の権利擁護

- ① 事故報告・ヒヤリハットについて
 - ・今年度大きな事故が2件(骨折)あった。その都度、県障がい福祉課に事故報告書を提出し、再発防止策の検討を図っている。
- ② 苦情受付
 - ・苦情の数は多いがほとんどが職員に対する要望である(〇〇を買ってほしい等)。金銭面の問題等で全てを叶えてあげるのは難しい。

7. にやりほっとについて

- ① 他人の良い行いや嬉しかったこと等利用者職員関わらず見つけると専用用紙に記入して投函できるようにしている。
 - ・投函されたにやりほっとは一か月間園長室に掲示している。
 - ・R5 年から始め、昨年は65件。

8. 施設紹介動画視聴

10. 質疑応答

- ① 在籍期間の平均が長い。途中で退所して自宅に戻る人はいるか？
 - ・週末帰省、大型連休に帰省する方はいるが保護者の高齢化で帰省できなくなっている。途中で退所して自宅に戻る人はいない。

11. 最後に感想を

- ② コロナ禍に購入したプレハブは今どうなっているのか？
 - ・面談場所、物品庫になっている。空調設備はあるがトイレが無いことが難点。
- ③ 2件の骨折についての解決策はあるのか
 - ・原因になったテレビを外した。しかし利用者同士のトラブルは今後もあり得るので事故回避のため適宜話し合いを行っている。

- ④ にやりほっとがたくさんあればよいですね。
- ⑤ 今後の参考にしたい。にやりほっとは良い活動だと思う。
- ⑥ 初めていろいろと知ることができた。作業工賃はどのように管理しているのか。
・個人の通帳に入金している。プチショッピング、ショッピングで使っている。
- ⑦ アート活動すばらしい。
- ⑧ 交流ウォーク、買い物支援等で利用者さんと交流したがとても楽しかった。地域の人たちと交流する機会を持ててよかった。
- ⑨ 毎日入浴をしているのは素晴らしい。他の施設にはないとても良いところだと思う。

12. 藍染体験

藍染科に行き、染色体験を行った。担当職員が染色の仕方や柄の付け方等説明をした後、染色体験をしてもらった。手ぬぐいにビーズやピンポン玉を輪ゴムで縛ったり、布を折ったりしてから染めてもらった。その後施設見学中に酸払いをして乾かし、最後にプレゼントとしてお渡しした。藍染体験はとても喜ばれ、楽しんでいただけたようであった。

13. 施設見学

本館、作業場等案内し、見学してもらった。熱心に質問をして下さったり町内交流ウォークで会ったことのある利用者に話しかけてくれたりした。